

DSC 6

'15年度 入学式・体育大会



18歳の参政権がついに現実のものとなりました。高校生にも「政治」が近づいたわけです。

若者の政治離れを食い止めることができ、日本が活性化するのであれば、それは素晴らしいことでしょう。

けれど、それは若者が政治に関心を持って新聞やテレビの報道番組を見、さらに様々なメディアを探って自分なりの結論を導き出した時。

そこまでは道のりは遠いのではないのでしょうか。

これを読んだ生徒の皆さんが日本の未来に大きな関心を持ってしっかり考えてくれることを望むと同時に、

周りの大人や学校に課せられた課題の大きさを痛感するのです。

学校長 井戸 裕久

’15
年度

入学式



高校の3年間は、様々な「可能性」が現実
にさらされ、淘汰されていく時期でもありま
す。時にはただの「可能性」で終わってしまう
ものや、「不可能だ」と諦められてしまうもの
もあります。反対に3年間という時間の中
で、しっかりと根を張り、「実現」されていく。
そんな可能性もあるものです。

放っておけばただの「可能性」でしかあり
ません。「こうしたい」という希望が、そのま
まではただ、頭の中の「想い」でしかないのと同
じです。実現に向けて、しっかりと歩むことこ
そ、みなさんに求められていることなのです。

こんな言葉があります「成功の反対は失
敗ではない。何もしないことだ」。確かにその
通りです。実行があつて初めて結果が出ます。
いい結果ばかりではありません。けれども、い
い結果を出そうとすれば、実行するしかあ
りません。たとえそこで失敗しても、失敗は
成功へのきっかけとなります。先ほど述べた
私たちの「応援」も、みなさんの行動がなけ
れば成り立ちません。みなさんは失敗を恐
れず、まず一歩踏み出すことを、大切にして
ほしいと思います。

学校は学ぶ場所です。「学ぶ」の多くは授
業の中で行われます。けれども、教科の学習
だけなら、教科書や参考書でもできるし、大
変便利なインターネットの利用も可能です。
学校の特徴は、そこにさまざまな個性を
持った人たちがいることです。人は自分と
違った個性と触れ合いながら、刺激を受け合
いながら成長していきます。

私たちが日ごろ何気なく使っている「学
ぶ」という言葉は、「真似をする」という意味
の、「まねぶ」と語源が同じだと言われます。
「人を真似ることから『学ぶ』はじまる」と
いうことでしょうか。あのイチロー選手が田尾
選手に憧れ、田尾選手の真似から入ったよう
に、ユニークであろうなどと考えずに、誰か彼

かの真似から始めればいい。いいことはどんど
ん真似ればいい。「まねぶ」中で、必ず「自分
の流儀」が見えてくる。自分が見えてきます。

また、人の目を通して初めて分かることも
たくさんあります。集団の中で、時には思い通
りにいかなく、辛い思いをすることもあるで
しょう。けれども、自分と違う他の人と触れる
その中に「自分」を考えるきっかけが必ずある
のです。学校という多くの他人を集めた場が
あるからこそ、「自分」を見つめ「自分」を見つ
けることができるのです。こうして3年間で、
自分はどうな人間なのか、何をしたいのか、ど
んなことに向いているのかなど、自分らしさ・自
分の生き方をぜひ見つけてください。

このところ、社会は大変大きく動いており
ます。現在はネット社会の便利さと難しさに、
大人だけでなく子どもまでも、飲み込まれて
います。その中で「確かな自分」を保ち、「正し
く認識し判断できる人間」になることが以前
にも増して必要となっています。「責任」ある
「大人」として成長できるように、しっかりと学んで
ほしいと思います。

最後に、本校は親鸞聖人の教えに基づく真
宗大谷派関係学校のつです。今ここに集うみ
なさんは「同朋」です。同じ願いを持った「仲
間」であります。生徒・保護者・教職員とそれ
ぞれ立場や役割こそ違え、願いは一つ。「一人一人
の健全な成長です」。

私たちが「同朋」の員としてみなさんと接
しますし、保護者のみなさまも「同朋」の員
として、学校運営のよきパートナーとして私た
ちにお力をお貸しください。ともに成長しま
しょう。

以上をもちまして、私の式辞とさせていただきます。
新入生の皆さん、充実した3年間を創りあげ
ましょう。

(学校長式辞より)



新入生誓いの言葉

新入生代表 伊神 友哉

(名古屋市立沢上中学校出身)

春の心地よい風が感じられる今日、私た
ち新入生438名は同朋高校に入学する
ことができました。

中学とは違った制服や環境に身をつつみ、
大きな期待や希望に満ちていると同時に、
不安な気持ちでもあります。

私たちは9年間の義務教育を終え、今日
からは高校生。つまり、大人への第一歩を歩み
始めます。これからの高校生活に慣れるまで
は、いろいろ困惑することもあろうでしょう。そ
んなときは、先生や先輩方のよきアドバイス
をいただきながら、いち早く高校生活になじ
めるよう努めていきたいと思っています。また、
学習や部活動では、新たな仲間たちと互い
に高め合い、悔いの残ることがないように、何事
にも積極的に取り組んでいきます。これから
の3年間で学ぶたくさんあることを活かして、将
来につなげたい。私たちはそんな思いで、今日
さらさらとした高校生活の最初の一歩を踏み
出します。

最後に、私たち新入生は、歴史と伝統あ
る同朋高校の生徒として、誇りを持ち、その
名に恥じぬような高校生活を送ることをこ
こに誓います。

新任教員紹介

4月より6人の専任教員を加え、総勢142人の専任教員、講師、職員が一つになり、本校の教育活動に力を注いでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

国語科

あんどう みずき
安藤 瑞基 先生

今年度より勤務することになり、現在は3年生の副担任をしております安藤瑞基です。

何かと落ち着かない4月、体育大会のある5月と慌ただしい日々を過ごしました。そんな慌ただしさの中で、ようやく生徒の顔と名前も一致し始めたところです。生徒からは「安藤先生!」と挨拶してくれるのに、こちらが名前と呼んであげられず歯がゆい思いをしていたので、一歩前進かなと思っています。しかし、まだまだ至らないことも多く、「一歩進んで二歩下がる」状態です。

引き続き精進を重ね、生徒とともに成長していきたいと思っています。よろしくお願いたします。



地歴・公民科

くろやなぎ しゅんた
畔柳 俊太 先生

今年度から社会科の教員として勤務することになりました畔柳俊太です。2年生と3年生の世界史を担当しております。

地理と現代社会では身の回りの社会の仕組みや出来事について理解し、世の中の出来事について関心を持つようになってほしいです。世界史・日本史では歴史上の出来事を振り返ることで現代を理解し、また、日本・世界に現存する数多くの文化財を実際に見たり訪れたりして様々なことを感じてほしいです。

新任教員として未熟な面も多々あるかもしれませんが、熱意をもって授業に臨んでいきますのでよろしくお願いたします。



音楽科

すずき のい
鈴木 乃維 先生

今年度より音楽科教員として働かせていただいております、鈴木乃維と申します。勤務を始めてもうすぐ3か月となります。教壇に立ち授業をする中で、生徒の私に対する真剣な眼差しに喜びと責任感を実感している毎日です。

高校生というさまざまなことを吸収できる時間を共有するにあたり、新しいことを発見する楽しさを提供していきたいと思っています。加えて、高校を卒業して社会へ出て行く彼らに対して、人生は自ら切り開いていくものだというのを伝えていくことでできればと思っています。そのためにも、これからも常に私自身が研究を続け、成長していく必要性を感じております。

どうぞよろしくお願いたします。



地歴・公民科

なち ゆうき
名知 佑基 先生

今年度1年6組の担任をしております名知佑基です。

教員になるという目標を、4年前に卒業した母校「同朋高校」で実現することができ、大変うれしく思っています。また、担任も持たせていただくことで、日々、充実感を味わいながら教員生活を送っています。

教科は社会科を担当しますが、自ら考え行動できる公民教育を目標に、私自身も日々悩みながら、生徒たちと共に成長していきたいと考えています。

恩師がそうであったように、私自身も「私に会うことができ良かった」と思ってもらえるような教員を目指し、これからの日々を精進していきたいと思っております。よろしくお願いたします。



数学科

たかおか ひろき
高岡 寛貴 先生

1年2組の担任をしております数学科の高岡寛貴と申します。

昨年度は教員になるという夢が叶い、今年度はクラス担任となる夢がかないました。素敵な生徒たちに囲まれ、毎日を充実して過ごしております。

生徒には、主体的に行動するというのを身につけてほしいと考えます。自分で考えることは、同時に責任を負うということでもあります。周囲のことを考えた行動のできる生徒になってほしいと願っています。

何より私自身が生徒への責任を果たすために、誰よりも勉強して行動で示すよう努めてまいります。



英語科

やまもと まみ
山本 真未 先生

初めまして。今年度より英語科教員として同朋高校に赴任しました山本真未と申します。働き始めて3ヶ月弱。毎日の授業や行事に今は手一杯ですが、生徒たちとともに楽しい日々を過ごしています。

「グローバル社会」という言葉が飛び交う昨今。単なる勉強としてだけではなく、日々を豊かにするひとつのツールとして、生徒には英語に触れてほしいと考えています。

同朋高校には二人のネイティブの先生もいらっしゃるの、積極的に話しかける生徒の姿をよく見かけます。授業を通して英語、もっというと英語や海外の文化にも興味を持たせ、少しでも生徒の視野を広げるサポートができるよう努力したいと思っています。



入学式の様子





15年度 体育大会

今年度の体育大会は例年より2週間早い日程のなかで行われました。前日まで、開催できるか天候の心配がありましたが、当日は心配が吹き飛び快晴の中での実施でした。今年度は日程を2週間早めたこともあり、新クラスの動き出しと同時に体育大会準備も始まりました。特に3年生は、応援合戦の中心を担うため、苦勞した部分も多かったのではないのでしょうか。そのような中、応援合戦やTシャツ作成とも、1・2年生の協力を得て見事に完成させました。まさに「為せば成る」を体験・体現した体育大会となりました。

競技部門も集団種目部門も、年々レベルが向上し、今年度も素晴らしい試合が繰り広げられ、見ごたえあるものとなりました。競技の後は、勝った者、負けた者、両者とも清々しい顔が印象的でした。

仲間と目標に向かって協力し合うことの喜びや素晴らしいと感じた体育大会であったと思います。

(体育大会実行委員会 小川 幸子)



みんなから学んだ団結することの大切さ

僕は体育大会の応援団長をやるつもりはありませんでした。応援合戦に関しては、副団長としてサポートをするつもりでした。しかしクラスで団長に立候補する人はおらず、「誰がやるのか」という空気が流れていました。一人の子が「あおとだろー」と言い、僕が団長をやる雰囲気になったので、仕方なく団長を務めることにしました。他の群団の団長とは違い、僕は自分に自信が無く、「本当に自分でいいのか」と弱気でした。その弱気な気持ちから、自分はまだ目立たず他の盛り上げのうまいクラスの子に任せ、自分はクールに引張って行こうと、カッコつけた考えから団長としての体育大会が始まりました。

授業後は毎日学校に残ってはいいたものの、副団長にダンスの振り付けを任せ、小道具作りも担当の子に任せ、後輩に何かを教える役も人に任せ、と人任せばかり。逆に僕がサポート役のようになっていました。けれど、同じ群団の2年生はとても協力的で、最初から練習や準備に積極的に手伝ってくれました。小物作りはこの群団よりも早く完成し、とてもいい雰囲気となりました。しかしダンスがとても難しく、息が合わないときれいに見えない振り付けでした。あまり練習に参加できなかった子たちは、最初の全体練習では、振り付けが覚えられず、練習についていくのも大変そうでした。そのうえ、友達と話し始めたり、遊び始めたりとさんざんでした。その後の授業後練習にも人が集まらず、悪い空気が流れ始めました。

僕は「自分が団長だからこんなふうになるのだ」「他のカリスマ性を持っている人なら、こんな辛い思いをせずにみんなを引っ張っていきけるのに」と、自責の念に駆られていました。しかし副団長や、いつも残ってくれていた友達が「気にするな。あおちゃんのせいじゃないよ!」と慰めてくれました。そして一人の子が「団

304 古本 蒼人 (名古屋市立柳中学校出身)

長以外の人が何か言っても、「誰オマエ」つてなるだけ。あおがやらないや意味ない」と僕を叱ってくれました。そこから僕は「このままじゃダメだ」「みんなを楽しませて自分が引張って行くんだ」と思い、全体練習の時は誰よりも大きい声を出し、遅くまで残って準備してくれた1・2年の後輩や同級生に感謝を伝えようと、自分にできる事を全力でやりました。そうしたら後輩たちと仲良くなりみんな協力的になってくれました。また、あまり参加できなかった同級生も参加してくれようになり、盛り上げてくれ、さらに楽しさに拍車がかかりました。「これならいける」「この黒群団なら優勝できる」と、僕は本番前日の全体練習で確信しました。

体育大会当日、全力で声を出し続けた僕は喉を潰してしまい、話をする時喉が痛むほどでも苦しかったです。だけど、そんな弱音は吐けないから、応援合戦直前までできる限り声を出さないように心掛け、大人しくしていました。

応援合戦の直前、陣を組み、士気を高めて、本番は全力で声を出しました。みんなも声がとても出ていて、いい雰囲気でもとても楽しく、瞬で応援合戦が終わってしまったように感じました。退場して後輩や同級生が口にした言葉は「楽しかった! また踊りたい」。この言葉が聞こえた時は泣きそうになるほど嬉しかったです。

表彰で「黒群団」と呼ばれた時、いつも頑張って来ていた子が泣いていて、「本当に優勝できて良かった」とまた泣きそうになりました。体育大会が終わった、「あおちゃんが団長で良かった!」とみんなから言われましたが、僕はみんなから団結の大切さ達成感など多くの事を学びました。僕は「黒群団のみんながいて本当に良かった」と思っています。



大会結果

群団別競技部門	優勝	白群団	303/204/111
	準優勝	青群団	309/202/109
	3位	黄群団	308/209/108
クラス別競技部門	優勝		309
	準優勝		303
	3位		307
応援部門	優勝	黒群団	304/211/104
	準優勝	水群団	311/207/105
	3位	緑群団	305/203/103





1年生

フレッシュユマン

合宿



入学式から約2週間後に、1年生は学年を6クラスずつの2団に分けて、フレッシュユマン合宿に出発しました。本校は、毎年この合宿を利用して、中学校までの学習を振り返り、その基礎固めとしての「基礎学力検定」を実施しています。その中で、集中して勉強する姿勢や、生徒同士の教え合い、合格するまであきらめないことの大切さを実感して、これからの高校生活にさらに意欲を持ってくれたと確信しています。

また、今年度は各科(普通科・商業科・音楽科)ガイダンスを実施し、3年間の流れと目標を確認することができました。3年後の進路決定に向けて、高い目標を持って学校生活に臨んでいくことで、さまざまな可能性が生まれることを感じてくれたのではないかと信じています。

3日間の合宿では、2回のホームルームの時間はもちろんのこと、ともに過ごすことで生徒同士の交流も深まり、クラス、そして学年としてのまとまりができました。素直な気持ちで、何事にも誠実に取り組む生徒たちの姿から、担任一同もこれからの3年間に向けてますます期待感が膨らむ合宿となりました。

(1年生学年主任 佐藤 昌子)

仲間の大切さ

107 熊崎 愛梨
(名古屋市立富田中学校出身)

私がフレッシュユマン合宿で得たものは、仲間の大切さです。自分の側にくれる人たちがどれだけ大切なのかを改めて知る2泊3日でした。

基礎検がなかなか合格できず悩んでいるとき、クラスの仲間が「待っているから早く愛情部屋から戻っておいで」と言ってくれてすごく嬉しかったし、「頑張らなくちゃ」と思いました。数学の3級がなかなか合格できず、夜遅くまでひたすら勉強をして、やっと合格して部屋に戻ったとき、さすがにみんな寝ているのだろうなと思っていたら、布団の中には入っていたけれど、みんな起きて待っていてくれて、本当に涙が出そうになりました。

理解できるまで時間がかかってしまう私に、優しく理解できるまでずっと教えてくださった先生方にも、感謝の気持ちでいっぱいです。夜遅く頑張った時は、先生はお風呂にも入らず、ずっとマンツーマンで教えてくださっていました。合格した後でも間違えてしまった問題をもう一度教えてくださった、たくさん迷惑をかけてしまいました。その分、定期テストで良い点を取り、少しでも恩返しができたらいなと思っています。

まだ話したことのない子とも話ができたり、知らなかった友達の名も知れたりして本当に充実した2泊3日でした。まだまだこれからクラスで楽しめる行事がたくさん待つので、「何があっても仲間が大切」の言葉を忘れずに、残りの3年間日々努力し、良い大人になれるよう頑張りたいです。

最後にもう一つ、できないことなどないという事です。できないのは自分が努力する前に「無理」「できない」と決めつけているのだと思います。これからは、できなくてもできるようになるまで努力して、一つひとつ目標をクリアして、いけるように頑張ります。

やればできる

110 山下 樹輝
(名古屋市立猪子石中学校出身)

僕は、フレッシュユマン合宿の3日間で1級までストレートで合格することができました。しかも、クラスの中で一番に合格し、思ってもいなかった結果となりました。

同朋高校に合格が決まった後は、本当はみんなと同じように浮かれた気分ですつと遊んでいたかったです。でも、入学後すぐに基礎検があることは分かっていたので、受験生活が終わった後でも気を抜かず勉強しておかげで結果が出たのだと思います。今回の合宿で僕は「やればできるんだ」ということに改めて気づくことができました。

また、今までは友達に教えてもらうばかりの立場でしたが、今回は早く受かったことにより、教える立場を経験しました。互いに教えたり、教えてもらったりするこのクラスが良いクラスだと実感できました。

この合宿は勉強中心だったけれど、クラスレクでクラスの友達と仲を深め合ったり、温泉で友達と楽しく話し合いながら入ったり、部屋で楽しく話したりすることができ、本当に充実した3日間となりました。商業科は男子の人数が少ないのでこの合宿で本当に仲良くなれました。

3年間という限られた時間を皆で協力して、将来に役立つ実力を十分に付けていきたいと思っています。そして、一生つきあえる友人をたくさん作って、学校生活を充実させたいと思います。

集団生活の意義

112 鈴木 愛梨
(名古屋市立猪子石中学校出身)

私がフレッシュユマン合宿を終えて得たものは、友達と集団生活の意義です。

まずは友達についてです。今まであまり話したことがなかった子と同じ部屋になり、自分自身のことについてたくさん語り合ったので、本当に仲良くなることができました。

次に「集団生活の意義」は、中学の頃はあまり深く考えたことがありませんでした。でも、高校生となり、学年全体の人数が増え、自分の中で重視するようになりました。朝のラジオ体操と校歌練習で集合する時も、一人でも集まらなかつたら始めることができないので、一人ひとりの高い意識が必要だと感じました。また検定に向けた沈黙学習の時、自分と友達だけで話しているからいいや、と思っていたら大間違いです。その会場には大勢がいるのです。少人数で小さい声で話していたとしても、そのようなグループがいくつもあつたら、先生の指示が通らないほどの、大きな声になつてしまいます。また、その大きな声によつて、他の人の勉強のやる気も低下させてしまいます。集団行動とは、本当に大変なものだと思います。

最後に、団長の大野先生がおっしゃっていた見えないものを見えるようにするのですが、私は少し実行できたのではないかなと思います。私はストレート合格だったので、友達が困った顔をしていたら、その子の席の隣まで行き、教えることができました。まだまだ見えていないものがたくさんあると思うので、この3年間で見えるように努力していきたいです。

2年生

デイキャンプ& フィールドワーク

すばらしい晴天に恵まれ、普通科は朝明茶屋キャンプ場(三重県 菟野町)にデイキャンプ、商業科は明宝特産物加工株式会社(郡上市)と岩崎模型製造株式会社(郡上市)へ工場見学、音楽科は楽器博物館(浜松市)の見学に出かけました。

普通科は、新しいクラスの仲間との交流を目的にバーベキューでの食事。食材は事前に班ごとに話し合い、全て自分たちで調達しました。商業科は、明宝ハム生産工程を目の当たりにし、また食品サンプル作りを体験することで、商品が消費者の目に触れるまでの過程を学びました。音楽科は、1000点を超える楽器の展示に触れ、それぞれ楽器の構造や歴史をしっかりと学んできました。

生徒たちにとってこの遠足が3年間の大切な思い出となったことを心から願います。

2年生学年主任 林 雄二



3年生

上山研修 じょうざん



同朋高校の3年生は、毎年4月に学校を代表して真宗本廟(東本願寺)にて上山研修を行っています。

3年生徒みなが真摯な姿勢で研修に臨むことができました。

東本願寺大寝殿で行われた教育講演では、戦時中に中国で生き別れた母と子の話に触れ、「屋根の下が違ってても互いに思い、思われることが生きる力となる。本願寺とは本当の願いを明らかにする寺。真実の願いとは何かを説いているお寺にきていることを忘れないでほしい」とお言葉をいただきました。

東本願寺での研修を終え、午後からはクラスごとに清水寺、祇園周辺を巡り、京都ならではの古都の町並みに触れることができました。

限られた時間での研修ではありましたが、最後の高校生活を迎える3年生一同にとって有意義な1日となりました。

3年生学年主任 佐野 将史

ウエサカ祭

覚王山日泰寺に、県内仏教系高等学校に通う高校生の代表が集い、ウエサカ祭を行いました。これは、お釈迦様の誕生(生まれる)・成道(悟りを開く)・涅槃(亡くなる)の3つの聖日をひとつにまとめたお祭りです。

本校からは、1年生クラス連合の生徒41名が参加いたしました。また、美術部生徒と書道部生徒が、ウエサカ祭協賛作品展に出品し、次の生徒が入賞いたしましたので報告いたします。

宗教主任 柏原 良教

◆ウエサカ祭協賛作品展入賞者

絵画部	金賞	林 渡辺	柚里花
	銀賞	後藤	菜々里
書道部	金賞	山口	慧
	銀賞	猪亦	季
	銅賞	二村	友里
	佳作	花木	菜里
		鈴木	依里
		安達	侑里
		牛田	桐加

学校通信(200号)にむけて

昭和50年(1975年)に創刊した学校通信は、次号で200号となります。

学校通信編集委員会では、過去の資料を基にした記念特集を計画しております。ご家庭に過去の本校の写真や資料がございましたら、ご提供をお願いします。お預かりした資料は、電子データ化し、お戻いたします。

また、201号より学校通信タイトル「DSC」を改定する予定です。良いタイトル案がございましたら、ぜひお寄せください。

編集委員会



Club & Award News

柔道部

- 第69回愛知県高等学校総合体育大会柔道競技
女子57kg級 第3位 金田 美香
女子48kg級 第3位 桑原 菜奈

女子バスケットボール部

- 第69回愛知県高等学校総合体育大会
バスケットボール競技名古屋南支部予選会
第6位

ラグビー部

- 第69回愛知県高等学校総合体育大会
ラグビーフットボール競技名古屋南知多支部予選会
優勝

女子蹴球部

- 第69回 愛知県高等学校総合体育大会 第3位

乗馬部

- 岐阜スプリングホースショー 障害60 第3位 高力 大虎
第4位 奥田 圭吾
第5位 池田 朋矢
- 第43回 中日本馬術大会 障害80 第6位 池田 朋矢

ダンス部

- HIGH SCHOOL DANCE COMPETITION 2015 中日本大会 準優勝

囲碁将棋部

- 第19回全国高等学校将棋女子選抜大会 第5位 澤田 萌々香

Schedule (行事予定)

6月	
27 土	地域懇談会
28 日	地域懇談会 簿記検定 秘書検定
30 火	1・2 普午前授業
7月	
1 水	午前授業 1・2 普期末考査
2 木	期末考査(～7日)
4 土	地域懇談会
5 日	地域懇談会 ビジネス文書検定
7 火	3年生交通安全教室
8 水	午前授業
9 木	午前授業
10 金	3時限授業 1年生交通安全教室
11 土	音楽科保護者会 MP講座
12 日	ビジコミ検定 MP講座
13 月	3時限授業 三者懇談会
	3年生HIV講演 MP講座
14 火	3時限授業 三者懇談会
	2年生薬物講演
15 水	3時限授業 三者懇談会
	1年生サイバー講演 2商租税教室
16 木	家庭学習日 三者懇談会
17 金	終業式 音楽科集中講義
27 月	商業科デザイン特講
28 火	MP講座
30 木	MP講座
8月	
1 土	MP講座
2 日	2年生進学合宿(～5日) 同窓会総会
3 月	1年生進学合宿(～5日)
8 土	地域懇談会「まどめの会議」
	豪州語学研修(～24日)
23 日	PTAバスツアー
25 火	出校日 MP講座
9月	
1 火	3・4時限に授業実施
5 土	3年生保護者進路ガイダンス
	音楽科アンサンブル演奏会
12 土	PTA常任委員会 1・2年生学級懇談会
21 祝	敬老の日
22 休	国民の休日
23 祝	秋分の日
24 木	文化祭準備
25 金	文化祭(～27日)
27 日	情報処理検定
28 月	家庭学習

2015年度 同朋高等学校 父母と教師の会役員



- | | |
|---------|----------------------------------|
| 会長 | 筧 正紀 |
| 副会長 | 三住 香
小川 美智子
西田 勲生
水野 省哉 |
| 会計 | 服部 今日子 |
| 会計監査 | 青山 順
奥村 洋子 |
| 事業委員長 | 村松 恭子 |
| 文化委員長 | 野村 三千代 |
| 生活指導委員長 | 加藤 鈴絵 |
| 地域懇委員長 | 竹村 和美
(敬称略) |

PTA会長より

本年度PTA会長を務めることになりました
と申します。役員の方々々と力を合わせて、1
年間の活動に取り組んでまいりますので、ご支
援とご協力を頂きますよう、よろしくお願い致し
ます。

高校3年間をどう過ごすのか。子どもから大
人へ、社会人として世の中に出ていく前のと
ても重要な時間です。この同朋高校で、先生
方から、勉強だけでなく、人生の先輩として多く
のことを学び、生徒同士が団結して成し遂げ
る体育大会、文化祭、卒業式での合唱構成
詩などの行事に積極的に参加し、部活動、生
徒会活動、実行委員会といった諸活動で活
躍することから、同朋高校だからできた貴重な
経験をもとに、自分の将来の夢や希望を、進む
べき道を自分自身で決めることができる人にな
ってほしいと思うのです。

ただ、現実の社会は、目まぐるしく変化し、情
報が氾濫し、大人でさえ最良の選択をすることが
難しい社会です。

それを子どもたちの生活の場である家庭・学
校・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚
し、参加させ、関係をもたせ、学校生活を生き
生きと充実したものとするために、支えていこう
ではありませんか。もうすぐ地域懇談会が開催
されます。学校が地域へ来てくれます。多くの
方の参加をお願いします。

「親の高校生活」を子どもたちと一緒に楽し
みましょう。

2015年度同朋高等学校父母と教師の会
会長 筧 正紀

地域懇談会

地域懇談会とは、学年・クラスの枠を超えて、
地域別に意見を交流し、学び合い、仲間をつ
くる場です。

今年度で39回を迎える地域懇談会。今年
度は『子どもたちの未来をソウゾウしよう～一
人で抱えこまないで…。子育てに答えはない～』を
テーマに、趣向を凝らし、アットホームな雰囲気
で実施しようと、各地域の保護者の方々や担当
教員が打ち合わせを行っています。

在学地域をもとに24会場を用意し、6月27
日(土)、6月28日(日)、7月4日(土)、7月5日
(日)のいずれかで実施します。多くの保護者の
方の参加をお待ちしています。

第17回 同朋高等学校音楽科 アンサンブル演奏会

平成27年9月5日(土)

会場：電気文化会館
ザ・コンサートホール
開場：17時30分
開演：18時00分(予定)